

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)



2024年2月13日

上場会社名 株式会社アバールデータ 上場取引所 東
コード番号 6918 URL <https://www.avaldata.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菊地 豊
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部ゼネラルマネージャー (氏名) 熊澤 陽一 (TEL) 042-732-1000
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の業績 (2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	9,567	△11.6	1,656	△4.1	1,772	△1.8	4,867	30.5
2023年3月期第3四半期	10,823	46.1	1,727	11.9	1,805	11.8	3,728	217.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	790.53	—
2023年3月期第3四半期	606.04	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	26,451	21,704	82.1
2023年3月期	27,951	20,874	74.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 21,704百万円 2023年3月期 20,874百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	46.00	—	199.00	245.00
2024年3月期	—	51.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	266.00	317.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	△9.7	2,620	9.3	2,710	8.6	5,558	30.1	902.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年3月期3Q	7,417,842株	2023年3月期	7,417,842株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2024年3月期3Q	1,259,453株	2023年3月期	1,262,591株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年3月期3Q	6,157,007株	2023年3月期3Q	6,152,909株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、【添付資料】3ページ（3）「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、個人消費や設備投資が持ち直し、景気は一部に足踏みがみられるものの緩やかに回復しております。一方で世界経済では、地政学的なリスクの増大、金融引締めや物価上昇などが景気の下押しリスクとなり、先行きが不透明な状況となっております。

当社に関連深い半導体製造装置市場は、需要の低迷と在庫過多により、設備投資はサプライチェーン全体において調整局面を迎え、概ね軟調で推移しておりますが、設備投資需要については、底入れから回復の兆しもでてまいりました。他方で部材等の在庫調整は続いており、発注での需給ギャップが解消するには、なお時間を要する状況となっております。

このような経営環境のもと、当社では、引続き必要な先行投資を行いつつ、お客様の装置の付加価値向上に資する製品の提供に努めてまいりました。難入部材が入り始めたことで長納期となっていた受注残の消化、製品化による顧客への提供が進んだことから、当第3四半期累計期間は概ね想定どおりに推移いたしました。

この結果、当第3四半期累計期間における売上高は9,567百万円(前年同四半期比11.6%減)、営業利益は1,656百万円(前年同四半期比4.1%減)、経常利益は1,772百万円(前年同四半期比1.8%減)、政策保有株式の見直しによる資産効率の向上を図るため、投資有価証券の一部を売却したことによる、投資有価証券売却益の計上により、四半期純利益は4,867百万円(前年同四半期比30.5%増)となりました。

当社は、事業内容を2つの報告セグメントに分けております。当第3四半期累計期間におけるセグメント別の状況は次のとおりであります。

① 受託製品

当該セグメントは、半導体製造装置関連、産業用制御機器および計測機器の開発・製造・販売を行っております。部材入手難の解消が進み、受注残の製品が完成、納品されたことにより、全般的な産業用装置における設備投資は、想定どおりに推移いたしました。

この結果、売上高は6,177百万円(前年同四半期比20.3%減)、セグメント営業利益は1,104百万円(前年同四半期比1.6%増)となりました。

当該セグメントの品目別売上の状況は次のとおりであります。

イ) 半導体製造装置関連

当該品目は、半導体製造装置の制御部を提供しております。高額部材の価格転嫁分は減少したものの、部材の供給難の解消が進み、受注残の製品の完成、納入により、出荷全体としてほぼ想定どおりで推移いたしました。

この結果、売上高は5,041百万円(前年同四半期比27.8%減)となりました。

ロ) 産業用制御機器

当該品目は、各種の産業用装置、社会インフラ関連の制御部を開発・製造を行いカスタマイズ製品として提供しております。受注残の消化が進んだことにより、検査装置関連の増加もあり堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は769百万円(前年同四半期比42.0%増)となりました。

ハ) 計測機器

当該品目は、各種計測機器のコントローラ、通信機器の制御部を開発・製造を行いカスタマイズ製品として提供しております。一部顧客が増加基調となったこともあり、堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は366百万円(前年同四半期比58.8%増)となりました。

② 自社製品

当該セグメントは、組込みモジュール、画像処理モジュールおよび計測通信機器の開発・製造・販売と、自社製品関連商品の販売を行っております。部材入手難の解消が進み、受注残の製品が完成、納入されたことにより、堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は3,389百万円(前年同四半期比10.3%増)、セグメント営業利益は1,050百万円(前年同四半期比2.5%減)となりました。

当該セグメントの品目別売上の状況は次のとおりであります。

イ) 組込みモジュール

当該品目は、半導体製造装置、医療機器関連、FA全般、電力・通信関連向けに提供しております。医療機器関連および半導体製造装置関連を中心に堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は491百万円(前年同四半期比59.3%増)となりました。

ロ) 画像処理モジュール

当該品目は、FA全般、各種検査装置、液晶関連機器に提供しております。一部製品において入手難であった部材の入手が進み、受注残の一部が解消されたことで、全体として想定どおりで推移いたしました。

この結果、売上高は1,426百万円(前年同四半期比0.5%増)となりました。

ハ) 計測通信機器

当該品目は、超高速シリアル通信モジュール「GiGA CHANNEL」シリーズを提供しております。「GiGA CHANNEL」シリーズ関連の検査装置向けの受注は、概ね想定どおりで推移いたしました。

この結果、売上高は1,375百万円(前年同四半期比7.3%増)となりました。

ニ) 自社製品関連商品

当該品目は、自社製品の販売促進とシステム販売による高付加価値化を図るため、ソフトウェアおよび付属の周辺機器を提供しております。自社製品関連商品は、概ね堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は96百万円(前年同四半期比54.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産は26,451百万円(前事業年度末比1,499百万円の減少)となりました。

主に、増加要因として、原材料及び貯蔵品を含む棚卸資産が1,231百万円増加、有形固定資産として、新たに開発拠点を山梨県韮崎市にR&Dセンターを設置するために土地の取得等を行っていること、また、生産拠点である厚木事業所の増築工事が、2023年9月に完了し、工事完了に伴い生産ラインの再構築を行い、設備導入を行ったことで712百万円増加しております。減少要因は、投資有価証券売却に伴い保有株式が減少したこと、また、投資有価証券の時価変動の影響により3,488百万円減少しております。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は4,746百万円(前事業年度末比2,329百万円の減少)となりました。

主に、原材料の購入等が減少したことにより、支払手形及び買掛金が519百万円、未払法人税等が557百万円、繰延税金負債が1,027百万円、その他として未払消費税等が197百万円それぞれ減少しております。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は21,704百万円(前事業年度末比830百万円の増加)となりました。

主に、利益剰余金が3,328百万円増加となり、その他有価証券評価差額金が投資有価証券の売却に伴い保有株式の減少及び時価変動の影響により2,512百万円減少となりました。

なお、自己株式が1百万円減少しておりますが、2019年6月21日開催の第60期定時株主総会において、譲渡制限付株式報酬制度を決議しており、2023年8月10日に、譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分の払込による減少となります。

(自己資本比率)

当第3四半期会計期間末における自己資本比率は前事業年度末と比べ7.4%増加し、82.1%となりました。

なお、自己資本比率は、当社の経営指標の一つとしており、自己資本比率80%以上を目標としております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の予想につきましては、概ね計画通りに推移しております。

また、今後、業績に影響を及ぼす事態が生じた場合には速やかに適時開示を行います。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,993,105	9,199,530
受取手形、売掛金及び契約資産	2,499,078	2,223,733
電子記録債権	266,131	303,862
商品及び製品	654,529	846,777
仕掛品	479,524	564,938
原材料及び貯蔵品	4,833,024	5,786,539
その他	57,980	114,687
流動資産合計	17,783,372	19,040,070
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,144,307	1,151,856
その他(純額)	781,931	1,486,664
有形固定資産合計	1,926,239	2,638,520
無形固定資産		
	41,015	39,191
投資その他の資産		
投資有価証券	8,144,205	4,656,001
関係会社株式	0	25,500
前払年金費用	23,975	20,413
その他	32,490	32,257
投資その他の資産合計	8,200,671	4,734,173
固定資産合計	10,167,926	7,411,885
資産合計	27,951,299	26,451,955
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,664,367	2,144,368
未払法人税等	1,619,676	1,062,339
賞与引当金	319,870	174,789
役員賞与引当金	66,600	55,950
その他	348,317	279,581
流動負債合計	5,018,830	3,717,029
固定負債		
繰延税金負債	2,055,425	1,027,710
役員退職慰労引当金	2,230	2,230
固定負債合計	2,057,655	1,029,940
負債合計	7,076,486	4,746,970

(単位:千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,354,094	2,354,094
資本剰余金	2,545,970	2,558,299
利益剰余金	11,678,777	15,007,099
自己株式	△907,618	△905,748
株主資本合計	15,671,224	19,013,745
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,203,588	2,691,239
評価・換算差額等合計	5,203,588	2,691,239
純資産合計	20,874,812	21,704,985
負債純資産合計	27,951,299	26,451,955

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	10,823,613	9,567,281
売上原価	7,777,459	6,451,756
売上総利益	3,046,153	3,115,524
販売費及び一般管理費	1,318,767	1,458,671
営業利益	1,727,385	1,656,853
営業外収益		
受取利息	66	111
受取配当金	74,088	110,429
受取賃貸料	494	360
助成金収入	1,074	2,966
その他	2,270	1,603
営業外収益合計	77,992	115,471
営業外費用		
為替差損	13	131
支払手数料	73	73
営業外費用合計	86	204
経常利益	1,805,292	1,772,120
特別利益		
投資有価証券売却益	3,494,708	5,154,548
特別利益合計	3,494,708	5,154,548
特別損失		
固定資産除却損	0	77
特別損失合計	0	77
税引前四半期純利益	5,300,000	6,926,591
法人税、住民税及び事業税	1,565,876	1,979,153
法人税等調整額	5,184	80,139
法人税等合計	1,571,061	2,059,292
四半期純利益	3,728,939	4,867,298

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	受託製品	自社製品	合計
売上高			
外部顧客への売上高	7,751,125	3,072,487	10,823,613
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	7,751,125	3,072,487	10,823,613
セグメント利益	1,087,371	1,076,690	2,164,061

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,164,061
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△436,676
四半期損益計算書の営業利益	1,727,385

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	受託製品	自社製品	合計
売上高			
外部顧客への売上高	6,177,594	3,389,686	9,567,281
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	6,177,594	3,389,686	9,567,281
セグメント利益	1,104,997	1,050,298	2,155,295

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,155,295
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△498,442
四半期損益計算書の営業利益	1,656,853

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。